令和8年度 県政世論調査（速報値）概要

富山県

赤字：前回調査からの変更点

＜調査の概要＞

- 調査対象　県内に居住する満15歳以上の男女4,000人
  （R7まで　満18歳以上）
- 調査期間　令和８年６月２２日～７月１７日（約2か月前倒し）
- 有効回答数（率）　うちWEB回答

	有効回答数（率）	うちWEB回答
R8	2,326人（58.2%）	752人（全回答数の32.3%）
R7	2,143人（53.6%）	528人（全回答数の24.6%）

調査項目

赤字：前回調査からの変更点

① 県政全般（政策の満足度・不満度、県政への要望）

※新たな総合計画の策定に伴い項目を見直し

（R7：75項目⇒R8：40項目）

※公表方法の見直し（満足傾向・不満傾向を追加）

② 個別施策

新富山県こどもまんなか条例　を含む10項目

③ その他

県民参考指標（総合計画等）に係る設問を追加

① 県政全般の満足度、不満度
県政への要望（抜粋）

- 満足傾向が強い項目（満足度－不満度がプラス）
  - 北陸新幹線の整備促進　25.1ポイント（満足度42.6%、不満度17.5%）
  - 水資源の保全と活用　17.3ポイント（満足度29.9%、不満度12.6%）
- 不満傾向が強い項目（満足度－不満度がマイナス）
  - 人口減少対策の推進　▲47.6ポイント（満足度4.6%、不満度52.2%）
  - 景気対策(物価高騰対策を含む)　▲41.0ポイント（満足度8.0%、不満度49.0%）
- 要望の高い項目
  - 医療提供体制の充実、雪に強いまちづくり、子育て支援

※新たな総合計画の策定に伴い調査項目を見直したため、前年度との単純比較はできない

② 個別施策（抜粋）

青字：昨年度調査

○㊕富山県こどもまんなか条例について

・今の富山県は「こどもまんなか社会」の実現に向かっているか

『向かっている』『どちらかというと向かっている』 43.6%

○ブランディング戦略について

・県内の「寿司」を県外の知人、友人等へ勧めたいか

『ぜひ勧めたい』45.7%（46.9%、▲1.2ポイント）

○ウェルビーイングについて

・ウェルビーイングの認知度

『言葉も意味も知っている』『言葉は知っているが意味は知らない』

43.5%（51.1%、▲7.6ポイント）

③ その他

青字：昨年度調査

○富山県は住みよい県だと思うか

『非常に住みよい』『まあまあ住みよい』

82.2%（87.1%、▲4.9ポイント）

○これからも富山県に住みたいか

『これからも富山県に住みたいと思う』

75.0%（78.3%、▲3.3ポイント）

○県内には、自然、歴史、文化、特産品など多くの魅力や地域資源があるが、県外の知人、友人等に自信をもって紹介したり、奨めたりできるものがあるか

『たくさんある』　29.4%（21.1%、+8.3ポイント）

調査結果の活用

- 県政や日常の諸問題に対する関心や期待の把握
- 調査結果を総合計画等の政策評価に用いるとともに、施策立案に生かす

担当：広報課